

【児童の実態】
 ・明るく素直である。
 ・作業に取り組む姿勢は意欲的である。
 ・基礎・基本は身に付けているが、活用力に個人差がある。
 ・課題設定力及び学習を生かし行動化する力が不足している。

【地域との連携】
 ・環境：保護者，リサイクルセンター，白神自然アドバイザー
 ・福祉：祖父母，サンピア，たしろ保育園
 ・地域：郷土史会，小畑勇二郎記念館，商店街，大館工芸社，たけのこ祭り
 ※講師，交流対象として学習に参画する。

【中学校との連携】
 ・田代中学校との連携
 田代中の「総合的な学習の時間」発表会に6年児童が参加し，中学校での総合的な学習の時間に見通しをもつ。

【学校教育目標】
 夢や目標の実現に向かって「進んで学び 心をみがき 体をきたえる」子どもの育成

【総合的な学習の時間の子ども像】
 様々な活動や体験から，課題を見付け，それらを追究していくことを通して，自分の考えの変容について，その理由や内容を具体的な事実をもとに表現することができる。

【本校の目標】
 自分の生活と地域の人々や事象とのかかわりについて探究することを通して，総合的に追究する方法を身に付け，そこにある課題を主体的に見いだし，他者と協力して問題を解決するとともに，自分の考えの変容を自覚し，よりよい生活を創り出そうとすることができる。

【育てようとする資質や能力及び態度】
 ○学習方法に関すること
 ・課題を発見し，設定する。
 ・課題解決に向けて解決方法や手順，ゴール（実践，表現方法）などを計画する。
 ・集めた情報のなかから必要な情報を判断・選択し，相手や目的に合わせて表現する。
 ○自分自身に関わること
 ・自分自身の学習の進め方や考え方などについて成長，変容したことをとらえる。
 ・自己評価したことをもとに，自分にできることを考え，行動化する。
 ○他者や社会とのかかわりに関すること
 ・他者と協同して課題を解決する。
 ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。
 ・課題の解決に向けて地域の活動に参加する。

【総合的な学習の時間の目標】
 横断的・総合的な学習の探究的な学習を通して，自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに，学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的，協同的に取り組む態度を育て，自己の生き方を考えることができるようにする。

【各教科・道徳・外国語活動・特別活動との関連】

国語	・目標や意図に応じて分かりやすく表現する ・自分の考えを筋道を立てて書く
社会	・各種資料を効果的に活用する ・学習課題解決に向けて追究する
算数	・見通しをもって課題を解決する ・資料を分類・整理し，グラフや表を用いて表す
理科	・見通しをもって観察や実験などを行う ・環境について考えるための知識を身に付ける
生活	・活動や思いを連続発展させて自分の思いや願いを育む学習の積み上げをする
家庭	・近隣の人々との生活を考え，自分の家庭生活について環境に考慮した工夫をする
道徳	・誰に対しても思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にする（福祉）
外国語	・他の国の文化の違いやよさに気付く，国際社会の一員として共に生きる資質や能力を養う
特活	・各行事において，日頃の学習の成果を発表する。自他ともに認め合いかわり合いながらよりよい生活を築こうとする

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
目 標	○地域の学習素材をもとに，思いや願いをもち課題を見付け，追究することができる。 ○地域の自然や歴史について調べることを通して，地域のよさを見付け愛着をもつ。	○地域の学習素材をもとに，自ら課題を見付け，自分でできる方法で課題解決することができる。 ○地域の伝統や文化産業，福祉について調べることを通して，地域の人々の願いや工夫を感じ取り，愛着を深める。	○地域の自然や環境について調べることを通して，地域への愛着を深め，よりよい地域にするために自分ができていることを考える。 ○地域の学習素材をもとに，自ら課題を見付け，見通しをもって課題解決することができる。	○地域の学習素材をもとに，自ら課題を見付け，よりよい方法で課題解決することができる。 ○地域の先人や環境について調べることを通して，地域のよさを再認識し，地域の一員としてよりよく生きていこうとする。
学年のテーマ（仮）	見る聞くやるぞたいけん隊	笑顔がいっぱい4年生	ふるさと大好きチーム早口	頂上めざせたしろだけ6年
内 容	国際理解	外国語で仲良くなるろう	外国語で仲良くなるろう	
	情 報	コンピュータと仲良くなるろう	コンピュータで学習しよう	コンピュータを活用しよう
	環 境			森林のはたらきについて調べよう
	福祉健康	お年寄り&保育園児とふれ合おう	ともに生きよう	
	地域伝統・文化	農作物で東北を元気にしよう		
容	自己の生き方	早小・早口の自慢できるもの発見	2分の1成人式をしよう	夢たんけんに出かけよう

・各教科で身に付けた，比較，分類，類推，関連付けなど，ものの見方や考え方を学習活動において総合的に活用できるようにする。
 ・総合的な学習の時間で身に付けた資質や能力，態度を各教科・領域で生かしていくことができるようにする。

【指導方法】
 ○内容に迫るために，意図的に身近な地域の自然や文化，人にかかわる体験的な場面を設定し，子どもの追究したい課題を設定させる。
 ○子どもの追究の方法や内容，表現や発信の方法を提示する。
 ○単元ごとに「書くこと」「伝える場」を位置付け自覚させる。

【学習の評価】
 ○単元ごとに「育てようとする資質や能力及び態度」の評価規準を設定し，担任が評価する。（「育てたい力」を活用）
 ○評価規準をもとに，子どもの学習シートやノートの記述，発言や活動の様子等から評価を行う。